

TOTO

小型電気温水器 湯ぽっと REW-Gシリーズ REW05型(幼児用マルチシンク対応電気温水器)

1 安全上の注意

安全のために必ずお守りください

取付工事の前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。この施工説明書では、製品を正しく取り付けていただき、使用者への危害や財産への損害および工事者への危険を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示は、つぎのようになっています。

表示	意味
	警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示についてはつぎの意味があります。内容をよく理解して正しく取り付けてください。

絵表示	意味	絵表示	意味	絵表示	意味
	一般的な禁止		必ず実行		アースを接続せよ

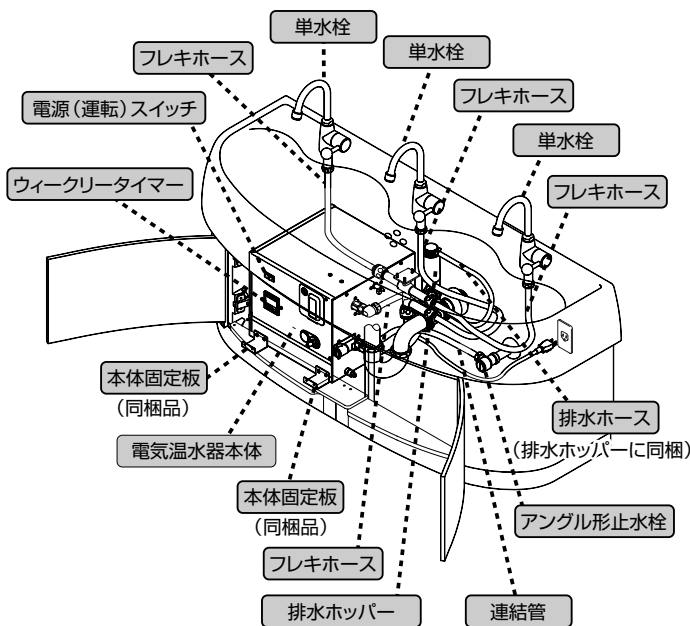
取付工事完了後、施工説明書に記載の「試運転」にしたがって各部の点検を行い器具のガタつきや漏電・水漏れなど安全上の不具合がないことを確かめてください。

製品に同梱されている「取扱説明書(保証書付)」は、使用者に製品を正しく安全に使用していただくための重要な書類です。紛失したり汚れたりしないよう大切に保管し、工事完了後、使用者または建築工事責任者にお渡しください。なお、保証書には必要事項を必ずご記入ください。

- 1 -

2 各部の名称

高温で沸かし上げて、適温で出湯します。



おねがい

- 当電気温水器は幼児用マルチシンク専用用品です。
- 幼児用マルチシンクにセットする電気温水器は必ず当商品をお使いください。

- 3 -

警告

	分解禁止 修理技術者以外の方は、この説明書に記載された項目以外は絶対に分解・修理・改造は行わない(感電や故障の原因になります。)
	禁止 指定する電源以外では使用しない(ヒーターの断線・火災などの原因になります。) 電源コードの加工(切断・継ぎ足し)を行わない(感電・火災の原因になります。) 屋内用のため、屋外には設置しない(感電や故障の原因になります。) コードを乱暴に扱ったり、ガタついているコンセントに差し込まない(火災の原因になります。) 水・油・洗剤などがつかからない位置に電源プラグ用のコンセントを設ける(感電の原因になります。)
	風扇シャワーなど水場での使用禁止 水がかかったり、表面に結露を生じするような湿度の多い場所、特に浴室やシャワールームには使用しない(感電や故障の原因になります。)
	必ずアース線を接続せよ 電気工事は、関連する法令、法規にしたがって必ず「有資格者(電気工事士)」が行い、アース(D種接地工事100Ω以下)工事を行う また、漏電遮断器を取り付ける (アース工事がされていないと故障や漏電のとき、感電の原因になります。)

注意

	禁止 タンクが空のときは、絶対に電源スイッチを入れない(空焚きとなり故障や事故の原因になります。) 水道水以外は、通水しない(井戸水などを通水すると腐食などにより水漏れするおそれがあります。) 製品に強い力や衝撃を与えない(故障や水漏れの原因になります。)
	必ず実行 排水管は耐熱性のものを使用する(熱による変形、割れなどで水漏れするおそれがあります。) 給水口に接続する前に必ず、配管内のゴミなどを取り除くため止水栓を開けバケツ2杯(約20L)程度の水を捨てる(フィルターを通ったゴミが機器内に入り、故障や水漏れの原因になります。) 凍結のおそれがある場合は、電源プラグを抜いてタンク内の湯を抜く「11機器内の水抜き」を参照ください。(凍結破損し水漏れのおそれがあります。) 水抜きを行うときは、必ず電源スイッチを「切」にする(空焚きとなり、故障・やけどの原因になります。) フィルター付き止水栓の掃除をする際は、いきなりフィルターふたを緩めず、止水栓を閉めてから行う(水が噴き出して、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。)

おねがい

- 給水圧力は0.1~0.75MPaです。この圧力の範囲内でご使用ください。
- 必ずフィルター付きアングル形止水栓を取り付けてください。
- 必ず膨張水処理のため排水ホッパーを取り付けてください。
- 取扱説明書の保証書に、お買い上げ店または、工事店名およびお取付日を必ず記入してください。
- 空焚き、施工上の責任は、当社では、負いかねますので、万一施工上に起因する不都合が生じた場合、貴店の保証規定によって修理していただくようお願いいたします。
- 連結管にはフレキシブル管をご使用ください。

- 2 -

3 部品の確認

施工前に必ず部品を確認してください。

①電気温水器	②排水ホース	③取扱説明書(保証書付)	④施工説明書
お客様にお渡しください			
⑤分岐金具	⑥本体固定板×2	⑦エルボ×2	⑧パッキン×2
⑨本体固定用ネジ×8	⑩分岐金具用ネジ×3	⑪ホース固定クリップ	

4 別売品一覧

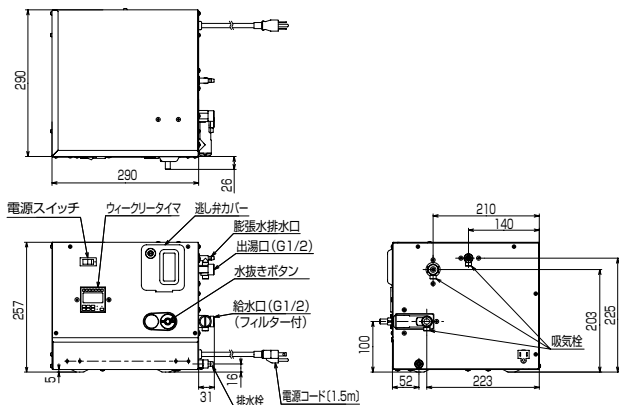
品名	品番	備考
排水ホッパー 密閉式	RHE97H-38	洗面所用(φ38)
連結管	RHE436-50	L=500mm
フレキホース	TN99BX57	L=570mm
アングル形止水栓	TL347C	給水用フィルター付き(壁給水用)
	TL347C2	給水用フィルター付き(床給水用)

- 4 -

5仕様

機種品番	REW05A1GNT100	
定格	電圧	単相100V
	周波数	50/60Hz
	消費電力	1.1kW
貯湯量	約5.0L	
出湯温度	(給水温度が5℃～30℃のとき、出湯温度：約30℃～40℃、混合バルブ内蔵)	
給水方式	先止め式(減圧弁・逃し弁内蔵)	
使用条件	使用水圧	0.1～0.75MPa
	使用環境温度	1℃～40℃(凍結不可)
製品寸法	幅290mm×奥行290mm×高さ257mm	
製品質量	約9kg(満水時 約14kg)	
電源コード長さ	1.5m	
電源プラグ	差込式 接地極付 2P	
主要部品	ヒーター	シーズヒーター
	減圧弁	設定値：0.08MPa
	逃し弁	吹始め圧力：0.095MPa 吹止まり圧力：0.087MPa以上
	自動温度調節器	サーミスター
	タイマー	内蔵
安全装置	温度過昇防止器	手動復帰式/バイメタル
	アース	電源プラグアース付

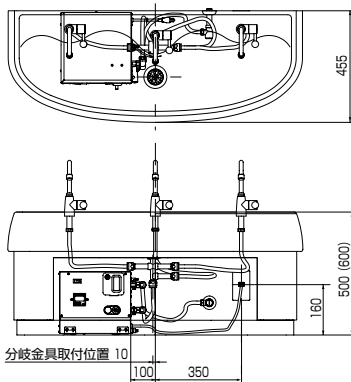
6寸法図



-5-

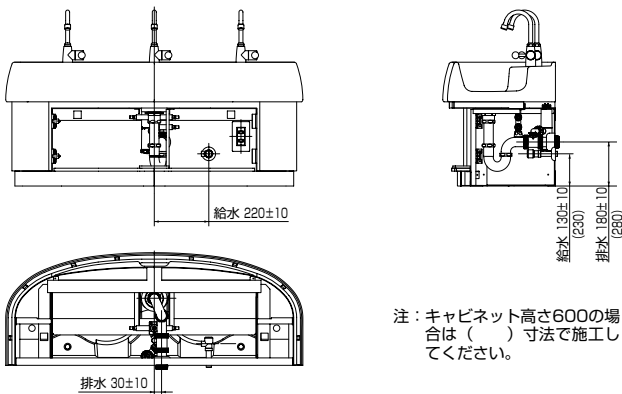
7標準施工図

電温施工寸法



注：キャビネット高さ600の場合は()寸法で施工してください。

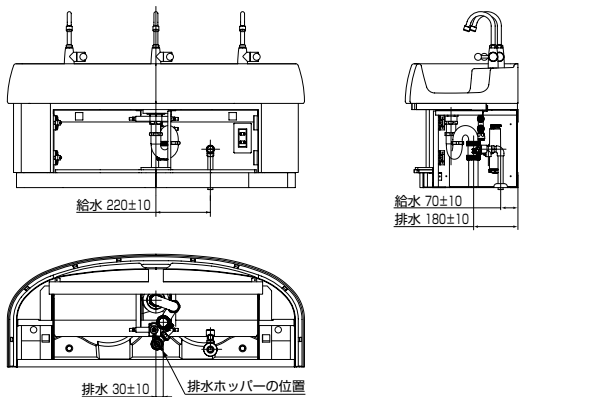
壁排水、壁給水施工寸法



注：キャビネット高さ600の場合は()寸法で施工してください。

7標準施工図(つづき)

床排水、床給水施工寸法

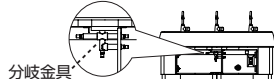


8電気温水器本体の設置

- ❌ 屋内用のため、屋外には設置しない(故障・感電の原因になります。)
- ❌ 水がかかったり、表面に結露を生じやすいような湿気が多い場所、特に浴室やシャワールームには設置しない(故障・感電の原因になります。)

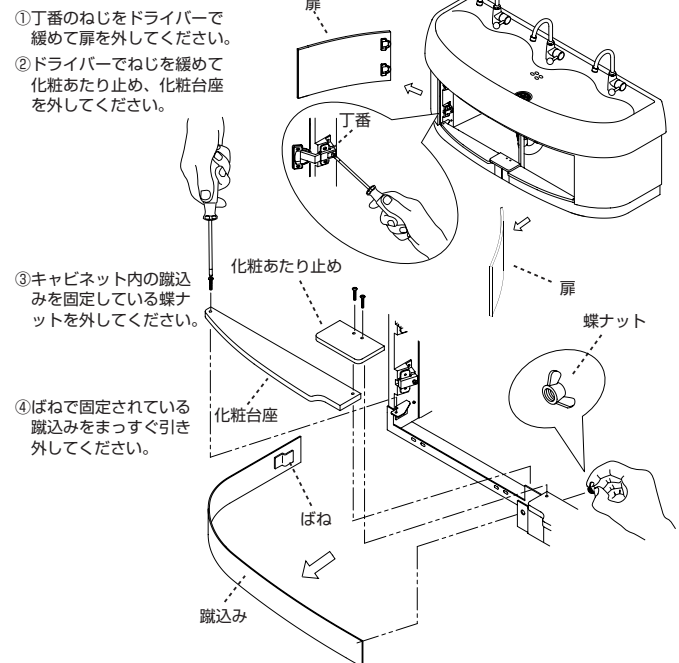
おねがい

- 空焚きの原因となりますのでタンクへの給水が完了するまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。(万が一、空焚きさせた場合にはP15の空焚きリセット方法を参照ください。)
- 湯の勢いが弱くなりますので、配管途中で他の器具などを取り付けしないでください。
- 電気温水器本体の設置の前にキャビネット内に分岐金具が取り付けられていることを確認してください。



-7-

- 1) 電温を設置する前にキャビネットの扉、化粧あたり止め、化粧台座、蹴込みの順に取り外してください。



- 2) キャビネットの内部にホース固定クリップ(同梱品)を取り付け、フレキホースを設置してください。



- ① 取り付ける前にホース固定クリップを親指で押し広げながら開いてください。
- ② キャビネット内の穴に押し込んでください。
- ③ フレキホースをホース固定クリップに通してからクリップを開いてください。

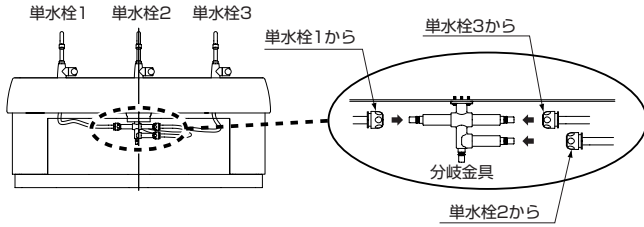
-8-

8 電気温水器本体の設置(つづき)

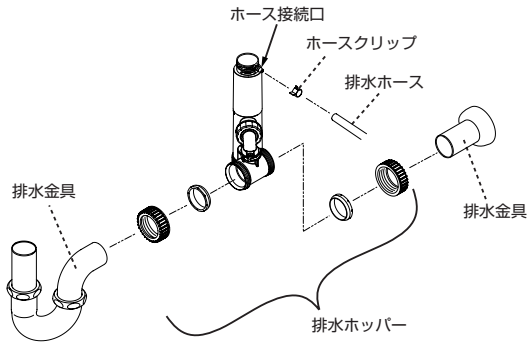
- 3) 分岐金具(同梱品)の右2ヶ所、左1ヶ所に単水栓からのフレキホース3本のワンタッチソケット部をまっすぐに挿入し、「カチッ」と音がるまで入れて接続してください。
※分岐金具の固定方法は幼児用マルチシクの施工説明書をご覧ください。

注意

スリーブが移動してグリーン色のストッパーが見えることを確認してください。(ストッパーが見えない位置で取り付けると、ホースが抜けるおそれがあり、水漏れの原因になります。)



- 4) 排水ホッパーのホース接続口に排水ホースをしっかりと差し込んでホースクリップで抜け止めをしてから、排水ホッパーを排水金具に取り付けてください。
※排水ホッパーの取り付けは、排水ホッパーに同梱の「施工説明書」にしたがって取り付けてください。

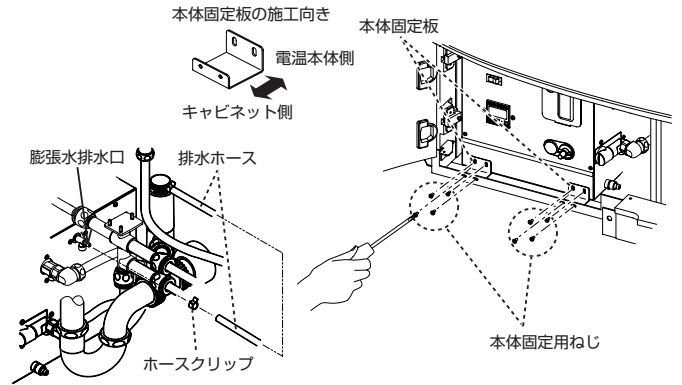


注意

床排水の場合、排水金具は必ず、電気温水器と反対側によせて設置してください。(電気温水器と干渉することがあります。)

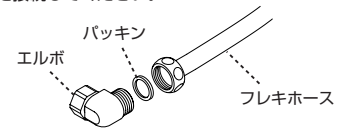
-9-

- 5) 電気温水器をキャビネット内に入れ、電気温水器とキャビネットを本体固定板(2ヶ)(同梱品)および本体固定用ねじ(8ヶ)(同梱品)にて固定する。排水ホッパーに取り付けてある排水ホースの先を電気温水器の膨張水排水口にしっかりと差し込んでホースクリップで抜け止めをしてください。

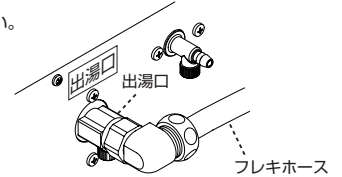


- 6) 以下の手順で出湯口にフレキホースを接続してください。

- ①フレキホースとエルボ(同梱品)を接続してください。



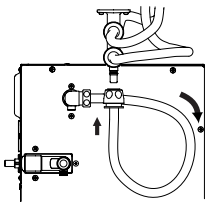
- ②出湯口にフレキホースを接続してください。



-10-

8 電気温水器本体の設置(つづき)

- ③分岐金具(同梱品)の下部にフレキホース(必要別売品)を後から下側に大きな輪になるように取り廻し下側からワンタッチソケット部をまっすぐに挿入し、「カチッ」と音がるまで入れて接続してください。



注意

- フレキホースは、極端に折らないでください。

R60以上

注意

スリーブが移動してグリーン色のストッパーが見えることを確認してください。(ストッパーが見えない位置で取り付けると、ホースが抜けるおそれがあり、水漏れの原因になります。)

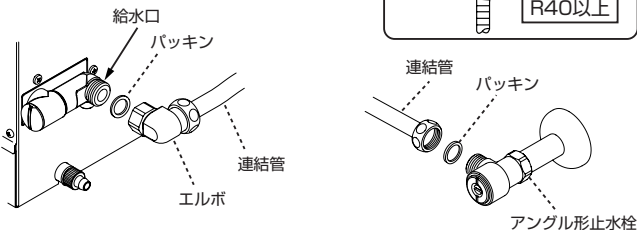
- 7) 給水口とアングル形止水栓に連結管を接続してください。

- ①連結管とエルボ(同梱品)を接続してください。
- ②給水口に連結管を接続してください。
- ③アングル形止水栓にフレキホースを接続してください。

注意

- 連結管は、極端に折らないでください。

R40以上



注意

連結管は排水ホッパーの下を通さないでください。排水ホッパーお手入れ時に支障をきたすおそれがあります。

-11-

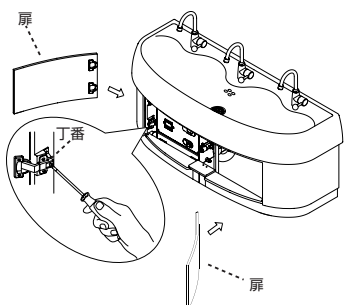
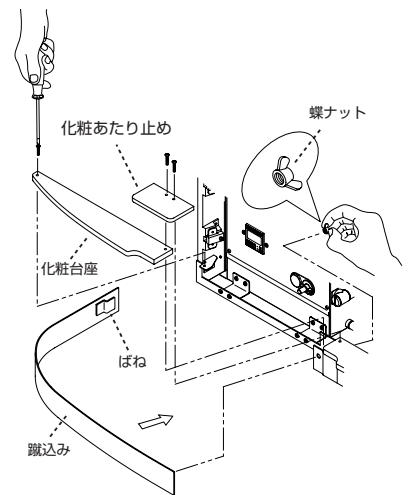
- 8) 電温を設置した後に蹴込み、化粧台座、化粧あたり止め、扉の順で取り付けてください。
※扉を取り付けた後はすき間の調整を行ってください。詳しくは幼児用マルチシクの施工説明書をご覧ください。

- ①蹴込みをまっすぐ取り付けばねが固定されるまで押し込んでください。

- ②キャビネット内に蹴込みを固定する蝶ナットを取り付けてください。

- ③ドライバーでねじを締めて化粧あたり止め、化粧台座を取り付けてください。

- ④扉を丁番に挿入し丁番のねじをドライバーで締めて固定してください。



-12-

9 電気工事



電気工事は、関連する法令、法規にしたがって必ず「有資格者（電気工事士）」が行い、アース（D種接地工事100Ω以下）工事を行う
また、漏電遮断器を取り付ける
（誤った工事を行うと故障や漏電の時に感電するおそれがあります。）



消費電力、電源を銘板で確認し、必ずこれに適した配線を行う
（火災の原因になります。）

- 1) 電源が規定の電圧であることを確認してください。
※規定の電圧以外での使用は故障の原因となりますので、絶対に行わないでください。
- 2) 接地付電源プラグになっていますので、必ず、対応したコンセント工事と電源容量を確保してください。

品番※	電圧	消費電力	対応コンセント
REW05A1GNT100	単相100V	1.1kW	WK3001W(露出型):松下電工 WF3002EK(埋込み型):松下電工

※品番は、電気温水器本体側面の銘板で確認してください。

10 試運転



タンクが空のときは絶対に電源プラグをコンセントに差し込まない
（空焚きとなり故障・やけどの原因になります。）

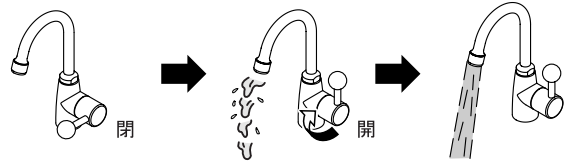
- 機器の減圧弁・逃し弁にゴミが付着すると、
膨張水排水口から微量の水が流れ続ける場合があります。
そのような場合は以下の操作を行ってください。

- 1) 逃し弁の手動レバーを引き上げて、膨張水排水口から1分ほど水を排出させ続けてください。
- 2) 逃し弁の手動レバーを元に戻して、蛇口を閉めたときに、膨張水排水口から水が流れ続けなかったことを確認してください。

(注) 流れ続ける場合は上記操作を再度行ってください。

1) 電気温水器への給水

- ① 止水栓を開けてください。
- ② 単水栓（3ヶ所）のハンドルを全開にしてください。
初めは断続的な吐水が、満水になると安定した吐水になります。
- ③ 逃し弁（3ヶ所）のハンドルを開けてください。
- ④ 配管接続部からの水漏れがないことを確認してください。



断続的な吐水 ⇒ 安定した吐水

10 試運転(つづき)

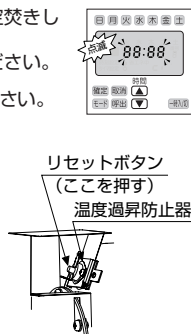
2) 電気温水器への通電 **空焚き禁止**

- ① タンクが満水になったことを確認し、電源プラグを差し込んでください。
- ② タイマーを取扱説明書にしたがって設定し、タイマーの運転時間内であることを確認してください。
- ③ 電源スイッチを「入」にし、ランプが点灯することを確認してください。
- ④ 電源スイッチを「切」にし、電源プラグを抜いてください。
(ランプは、消灯します)

空焚きリセット方法

※タイマー表示部が右図のようにになっている場合は空焚きした可能性があります。
※万一空焚きをした場合は、以下の処置を行ってください。

- ① 電源スイッチを「切」にして、電源プラグを抜いてください。
- ② タンクに水を入れて、タンク内の温度を下げてください。
- ③ 前面パネルを取り外し、タンク側面の温度過昇防止器のリセットボタンを押してください。（リセットボタンが作動している場合のみ）
- ④ 前面パネルを取り付けてください。
- ⑤ 電源プラグを差し込み、電源スイッチを「入」にしてください。



給水フィルター・止水栓フィルターにゴミが詰まると故障の原因になります。試運転後、フィルターの掃除を行ってください。
(掃除の方法は、取扱説明書を参照してください)

減圧弁、逃し弁は消耗品です。
劣化により機能の低下や水漏れする可能性があります。
必ず定期的に交換するよう、お客様に説明してください。

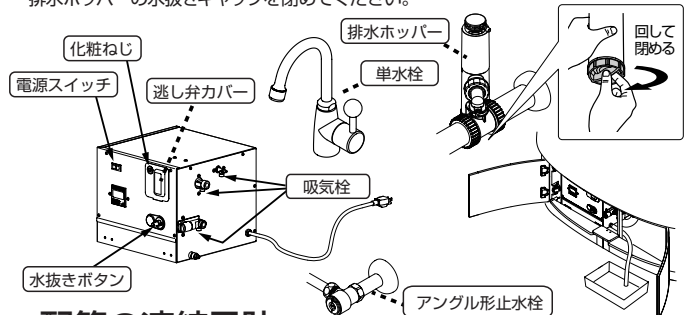
11 機器内の水抜き



凍結のおそれがある場合は、電源プラグを抜いてタンク内の水を抜く
(凍結により破損し、水漏れするおそれがあります。)

【水抜き手順】

- ① 電源スイッチを「切」にし、電源プラグを抜いてください。
- ② 単水栓のハンドルを全開にして、タンク内の湯を完全に押し出してください。
注) タンク内に湯が残っているとやけどをするおそれがあります。
- ③ 逃し弁カバーの化粧ねじを回して逃し弁カバーを開けてください。
※化粧ねじは止水栓に同梱されている開閉工具で回してください。
- ④ 逃し弁の手動レバーを引き上げてください。
排水ホッパーへ水を流して20秒以上経過したら、逃し弁の手動レバーを元に戻してください。
- ⑤ 止水栓を開けてください。
- ⑥ 同梱の排水ホースを機器本体の排水栓に接続し、排水栓を開けてください。
注) 水を抜く際は、必ずトレイなどの排水受け皿などで受けてください。
注) 排水ホースは必ず排水受け皿などの底につけてください。
- ⑦ 膨張水排水口部の吸気栓を開けてください。
- ⑧ 逃し弁の手動レバーを再度引き上げてください。
- ⑨ 減圧弁の水抜きボタンを押して、水を抜いてください。
注) 水を抜く際は、必ず排水受け皿などで受けてください。
- ⑩ 排水ホッパーの水抜きキャップを開けて、排水ホッパー内の水を抜いてください。
- ⑪ 水抜きが完了したら逃し弁の手動レバーを元に戻し、機器本体の排水栓および吸気栓、排水ホッパーの水抜きキャップを閉めてください。



配管の凍結予防

- 電源（運転）スイッチが「入」の状態でも配管が凍結する場合は、必ず給水、出水、出湯側の各連結管と排水管に保温材または、ヒーターを巻いてください。